

地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	◎	
	地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流		
	地域コミュニティ・集落再生	○	環境	◎	
	地域交通・情報通信		まちづくり	○	
ふりがな		なかぼう まこと			
氏名		中坊 真			
所属	名称	NPO 法人九州バイオマスフォーラム			
	役職	事務局長			
連絡	住所 (職場)	〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地5816			
	連絡先	e-mail	nakaboh[アットマーク]kbiomass.org		
		TEL 0967-22-1013	FAX 096-300-3348		
	連絡方法	E-Mailでお願いします			
略歴		<p>1972 年生まれ。京都府出身。最終学歴：京都大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学。火山物理学を専攻する大学院生として阿蘇で研究生活を送るうちに、バイオマスに出会う。2003 年に NPO 法人九州バイオマスフォーラム設立に関わり、阿蘇に定住。阿蘇地域に豊富にある草資源の調査と、新たな活用に取り組む。</p> <p>2005 年から、NEDO 技術開発機構のバイオマスエネルギー地域システム化実験事業に阿蘇市と共同提案し、阿蘇の草原の草のガス化発電の実験事業を実施。実験終了後は、草の活用方法として飼料用・堆肥用に販売する農業法人を設立した。農業法人は、2022 年度に熊本県の農業コンクール地域農力部門優良賞受賞。</p> <p>2009 年からは、木質バイオマス燃料を普及させることを目的に九州薪・木質ペレット活用協議会を設立し、その事務局を担当。セミナーや視察研修ツアーを多数開催している。また、NPO法人でも薪の生産販売と木質ペレットの流通・販売事業を行っている。</p> <p>最近では、バイオガスプラントの事業化支援、バイオ液肥の普及、木質チップ工場の補助金申請支援などに取り組んだ。</p>			
著作・論文等		2014～2015年 熊本日日新聞 計 9 回 日曜論壇連載			
取組概要		<p>NPO 法人九州バイオマスフォーラムは、バイオマスの普及啓発、利活用システムの構築、コンサルティング・講師派遣・薪の製造販売を行っています。草本系、木質系、廃棄物系バイオマスの利活用に関して、ノウハウを持っています。</p> <p>バイオマスの普及啓発事業としては、テレビ熊本と連携して 2007～2010 年度の期間で計 4 回、バイオマスをテーマにした 55 分番組を制作・九州一円に放送しました。また、BDF カートやミニ BDF 精製プラントを使って、小学校でバイオマスをテーマにした環境教育を行なっています。</p>			

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	<p>薪・木質ペレットストーブの普及啓発、薪・木質チップの製造・販売支援、木質バイオマスボイラーの導入簡易診断なども行っています。</p> <p>2016 年 4 月に発生した熊本地震では、震災により発生した解体材などの木くず処理のコンサルティングを行いました。また、災害支援ボランティアのコーディネートも実施しました。</p> <p>ここ数年は、環境省脱炭素先行地域や重点対策加速化事業などの提案・計画書づくりをお手伝いしているほか、民間企業の脱炭素・省エネ対策の計画策定をお手伝いしています。</p>
メッセージ	<p>バイオマスエネルギーは、太陽光や風力と異なり、設備を設置すれば終わりというものではありません。原料調達の上流から最終利用の下流まで、多くの関係者が知恵を絞って協力しないと成り立たないシステムです。また、エネルギーだけでなくマテリアル利用を十分検討しなければ、十分な採算性が確保できません。</p> <p>NPO 法人九州バイオマスフォーラムでは、これまでの経験を生かして、バイオマス事業化検討や環境教育に関する専門家派遣を行っています。また、自治体からのバイオマス利活用推進計画の策定や、事業化計画の策定業務の委託、民間企業の顧問も引き受けております。</p>
関連ホームページ	https://kbiomass.org/ https://qmaki.com/
活動エリア	九州圏

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。